

# Fuji-1GP

SUPER Endurance Race at FSW

## 2017

### フジワングランプリ 4時間耐久 参加の手引き



Fuji-1GP に参加を計画している方はお読みください💜

#### 更新履歴

2017年1月10日 P6「ペナルティと失格」追記、P7 ストレートの注意追記

## 1) Fuji-1GPとは？

この大会は、毎年8月と1月に開催する大人のための“究極のお遊びレース”です！

レースと言ったものの、ライセンスを持たなくても参加できるため、ある程度参加者のモラルによってレースが統制されます！安全に運行するためにも、チームリーダーを中心に安全喚起頂き、安全で楽しい一日が過ごせるようご協力お願い致します。

「走行会にも飽きた！」、「スポーツ走行にも飽きた！」、「カリカリしたレースはもうウンザリ！！」などなど…………

そんなモータースポーツファンが集まって“よ〜いドン！”を行う4時間プチ耐久レースです。

8月に開催する真夏の耐久は、スターティング・シグナルのカウントダウンによる、心臓ドキドキの超本格的なスタンディング・スタートを採用。

1月の新春耐久は、タイヤの温度低下を避けるために「ローリング・スタート」でレースがスタート！

このスタート手順はFIA-GTなどにも採用されている方式で、グリーン・シグナルと共にオーバーテイクが可能となり本格的なレースの醍醐味を存分に味わうことができます。

お遊びレースでありながらも限りなく本物(本質)を追及した素人対抗耐久レースです。

たまにプロあり

## 2) 主催と協力会

主 催：フジワングランプリ実行委員会 連絡先 0550-78-0128

協力会：VICIC (ビクトリーサークルクラブ)

PMC・S (プリンスモータリストクラブ)

マツダスポーツカークラブ

ALC (オートライフクラブ)

## 3) 参加料金

参加料金 1チーム：120,000円 ピットとトロフィー付(税込)

## 4) 参加申込

参加申込は、Eメールに以下の必要事項を記入の上お申込み頂くか、以下のリンクよりエクセルのフォームをダウンロードして添付ください。

エクセルフォーム：<http://japan-racing.jp/moto/PDF/entryTEAM.xlsx>

メールアドレス：[moto-cup@japan-racing.jp](mailto:moto-cup@japan-racing.jp)

1. 申込者名(カタカナ)：
2. 参加費の振込者氏名(カタカナ)：
3. 住所：
4. 連絡先電話番号：
5. 希望ゼッケン番号：
6. 参加クラス：

7. チーム名 :
8. 使用車両 1~5 台 :
9. メンバー氏名 :
10. 1 月大会の有料練習枠数(希望者のみ記入) :

## 5) チームと車両構成・参加資格

- 1) ドライバーは適格な運転免許証を保有すること。
- 2) 各チームのドライバー人数に制限はありません。何名で参加しても良いです。
- 3) 車両は、各チームに対し **5 台**まで使用する事が出来ます。複数台使用するチームはピット交代時に発信機を次の車両へ載せ替えてから走行してください。

## 6) レースの構成

新春大会(1 月) = 抽選によるグリッド決め→ローリングスタートによる 4 時間耐久レース

夏大会(8 月) = 予選タイムアタック→グリッドスタートによる 4 時間耐久レース

## 7) クラス分けとクラス名称

ご覧の通り **“ザックリ”** としたクラス分けとなります。必ず車両に適合したクラスでご参加ください。

もし自分のチーム内で他のクラスが混在する場合は公平を保つために、それらの上級クラスを選択ください。(チームの車両構成一例 : R-NA が 1 台、S-NA が 1 台、R-Turbo が 1 台の構成だとしたら、参加クラスは「R-Turbo」となります)

クラス名称	タイヤ	エンジン	馬力	捕捉
<b>Touring Car(TC)</b>	ラジアルまたは S タイヤ	問わず	200ps 以下	200 馬力以下のライトパワー車両を対象
<b>R-NA</b>	ラジアル	自然吸気	大よそ 300ps 以下	
<b>S-NA</b>	S タイヤ	自然吸気	おおよそ 300ps 以下	
<b>NA-SUPER</b>	ラジアルまたは S タイヤ	自然吸気 2500cc 以上	大よそ 300ps 以上	2500cc/300ps 以上の NA 最上級クラス
<b>R-Turbo</b>	ラジアル	過給機付	大よそ 330ps 以下	「BNR32 以降」は SUPER でご参加ください
<b>S-Turbo</b>	S タイヤ	過給機付	大よそ 330ps 以下	「BNR32 以降」は SUPER でご参加ください
<b>SUPER</b>	ラジアルまたは S タイヤ	問わず	大よそ 330ps 以上	ハイパフォーマンスカー対象の最上級クラス
<b>RACING</b>	スリック	問わず	問わず	カップカー等の競技車両も参加できるオープンクラス フォーミュラ不可

## 8) スリックタイヤの規定

近年スリックタイヤの風の S タイヤやラジアルタイヤが販売されていますが、それらは「スリックタイヤ」の扱いとなります。よって、それらのタイヤを使用する際は「**RACING クラス**」でご参加ください。

以下の写真は一例です。



## 9) 車両の準備

- ✓ 配布された発信機を右窓の内側へ**ガムテープ**で貼り付ける！貼り付け場所や貼り付ける方向が間違っていると計測できない場合があるので慎重をお願いします。
- ✓ 雨や風圧に耐えうるゼッケン番号を「**前と左右**」に貼り付ける！特にサイズや色に規定はございませんが、はっきり認識でき、走行中に剥がれないよう固定してください。
- ✓ 牽引フックを取り付ける。車載工具に付属する純正品で OK。
- ✓ ガラス製のヘッドライトやウインカーにテーピングを行う。プラスチック製のヘッドライトなどはテーピング不要。
- ✓ 少なくとも基本メンテナンス（ブレーキ、オイル類、ベルト類の確認）を事前に必ず済ませておいてください。

### 【とても重要です！】

発信機とゼッケンは指定場所に“固定”してください。

レース中に発信機が認識できない場合は、バックアップとして定点カメラにて**右側ゼッケン**を確認し光電管を介して計測します。しかしゼッケンが小さかったり、剥がれていると車両の認識ができなくなり、これらは計測結果に直接影響してしまうため十分ご注意ください！



## 10) ドライバーの準備と装備

- ✓ ヘルメット、レーシンググローブ（軍手など不可）、長袖、長ズボン、運動靴の装備厳守となります。レーシングスーツ、ハンズ、4点シートベルト等の安全装備があれば尚良いです。

### 【備えあれば憂いなし！】

時に安全はお金で買えることがあります。お小遣いをセコセコ貯めて、シートベルト、ロールゲージ、上質なヘルメット、ハンズなど安全装備品を揃えることをお勧めします！

- ✓ 走行中の腕まくりなど、素肌が見えた状態で運転しないようご注意ください。
- ✓ 運転中に運転席の窓は石等の飛び込みを防ぐ為に閉めてください。窓を開ける場合は後部や助手席などで対応をお願いします。
- ✓ 同乗走行は一切禁止となります。
- ✓ 8月大会は猛暑が予想されます。ドライバーの水分補給の準備をお願いします。

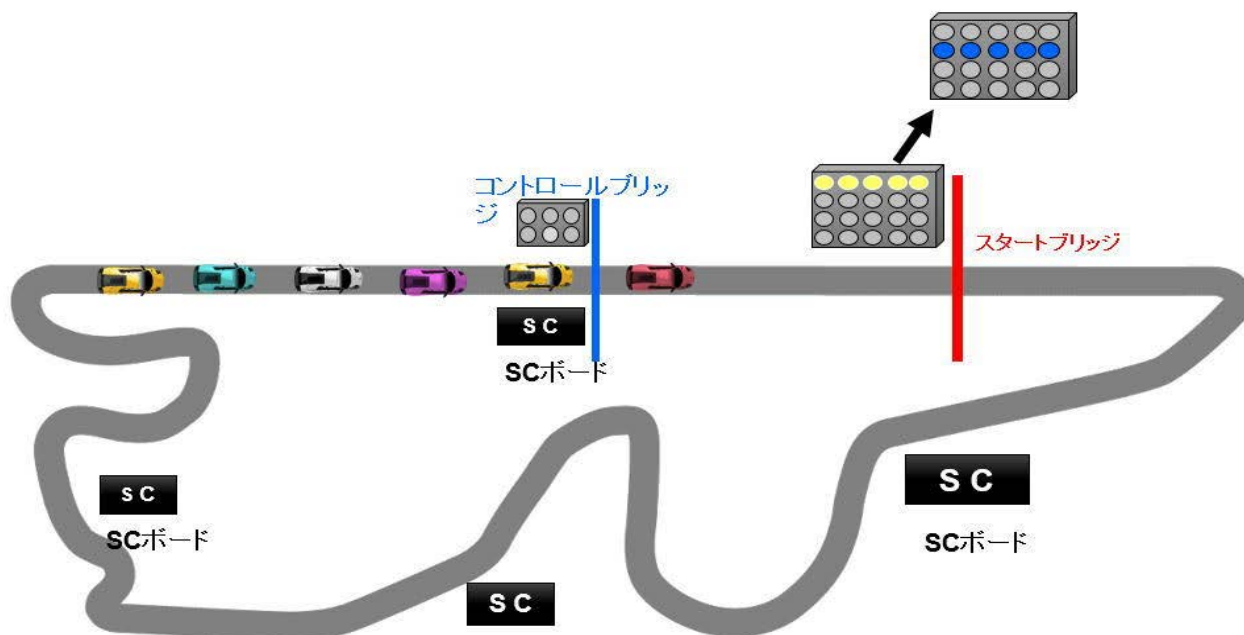
## 11) ピット

- ① ピットは参加台数に応じて主催者判断にて割り振ります。もし他のチームと隣り合わせを希望する場合は事前にお知らせください。
- ② ピット内の小部屋は共有使用となります。仲良く利用いただき、くれぐれも占有しないようご注意ください。
- ③ ガソリン携行缶はピット内の指定場所に保管ください。

## 12) ルールとマナー

- ① このレースは完全なる「お遊びレース」です。「安全第一！結果は二の次！」です。命をかけた走行はご遠慮ください！
- ② 如何なる状況であろうと事故の際は、相手に責任を迫及したり、その責任を求めたりすることは出来ません。全ては**50:50**（五分五分）となります。
- ③ ガードレールなど施設を破損した際は、施設補修費用が発生します。なお FISCO ライセンス保有者はライセンスの補償制度が適用されます。
- ④ グリッドはくじ引きで決定(冬大会)します。とは言ったものの後方グリッドを希望するチームはくじ引き前に申し出てください。
- ⑤ レース中に給油する際は、**携行缶等を使用しピット内**で給油するか、**ガソリンスタンド**で給油をおこなってください。ピットロード作業エリアで給油はできません。またクイックチャージャーなども使用禁止(**Racing クラスを除く**)となります。
- ⑥ 車両を入れ替える際は、発信機の移動が必要です。なおコース内でストップした際はレッカーで回収されピットへ搬送されますので、その後に発信機を次の車両へ移動してからコースインしてください。
- ⑦ 黄旗が振られている間は**追い越し禁止**となります。極端な低速車両の追い越し以外は規制区間を厳守下さい。なお規制解除は**緑旗**となります。
- ⑧ 赤旗中断中でも計測時間に含まれます。
- ⑨ プリーフィングは必ず参加ください。また必要に応じてピットクルーもご参加ください。
- ⑩ SC（セーフティカー）導入の手順(P6の図を参照)。  
レース中にコース内で障害物や何らかの理由により低速走行が必要とされる時に SC を導入します。なおこの間にピットインもできます。
  - 1) 各ポストから「SC」のボードが提示され、コントロールブリッジも「SC」を表示する。

- 2) 直ちに安全な速度を保ち**一列**の隊列で走行を維持（ピットイン可）。なおこの間は追い越し禁止となります。
- 3) フラッシングライトを点灯した SC がコースに進出し隊列の先頭に配置し 70～120 キロで走行を続ける。
- 4) SC の解除が迫ってくると SC のフラッシングライトが消灯。
- 5) SC が隊列を離脱しピットインします。隊列は一定の速度を保ってそのまま走行を維持。
- 6) スタートラインの信号が「青」になったらレースが再開し、この時点から追い越し可能となります。なおこのときポストから緑旗も振られます。



#### ⑪ 「赤旗」が掲示された際の手順

レースを一旦停止しなければならない場合には、各ポストより「赤旗」を提示します。赤旗を確認したら安全な速度でピットロードへ戻ってください。

- 1) 各ポストより赤旗が提示される。
- 2) 安全な速度でピットへ戻る。
- 3) 赤旗の間もレース時間に含まれます。またこの間にピット作業やドライバー交代もできます。
- 4) 走行準備が整っている方は、ピットエンドで待機(信号は「赤」)。後从这里からレースを再開します。
- 5) ピットエンドの信号が「赤」から「青」へ変わったらコースインが可能となり、ここから**レースが再開(リ・スタート)します。**

### 13) ペナルティと失格

レースを安全に進行させるためにレース中にペナルティや失格があります。

運営団が「危険」と判断したドライバーやチームに対してペナルティを与え、一旦クールダウンして頂き再び走行します。ペナルティには、ドライブスルーやピットストップなどがあります。

但し、**追突や幅寄せ、ストレートの蛇行追い越し、走路外走行**など、「運転そのものが危険！」と、運営団が判断した際は失格とし、その時点で黒旗が提示されピットインとなります。

失格の際はレースに復帰できません。

### 14) ストレートの蛇行走行禁止！

ストレートが長いと車種毎のスピード差が生じます。またストレートの接触は重大な事故に発展する可能性があります。

おい抜かされる車両は、進路変更せず直進し追突事故を誘発しないようお願いします。

追い抜く車両は、十分なマージンを確保してから追い抜いてください。とくに**追い抜く際の蛇行走行は追突事故に発展します**。追い抜きの際は**予め進路を変更してから追い越すよう**お願いします。

## 15) 決勝レースのスタート手順 (8月大会)

- ① 「予選兼練習走行」のベストタイム順にスターティンググリッドを決定します。予選に出走しないチームは主催者判断にてグリッドを割り振ります。  
なお参加台数が多い場合はA組、B組に別れて出走します。組み分けは、エントリーリストをご覧ください。
- ② 予選終了の数分後にグリッド表を配布します。各自事務局まで取りにきてください。
- ③ ピットロードエンドへ整列 (ピットクルーは予めグリッドへ配置、ポールポジションはアウト側)
- ④ コースインしグリッドに整列 (グリッド上での写真撮影可)  
コースインできない場合は、ピットスタートとなります。
- ⑤ 5分前ボード掲示、ピットクルーはグリッドより退去
- ⑥ 3分前ボード掲示、エンジン始動
- ⑦ 1分前ボード掲示
- ⑧ 30秒前ボード掲示
- ⑨ 5秒前よりシグナルのカウントダウンが始まり**信号が消えたら (ブラックアウト) スタート。**



## 16) 決勝レースのスタート手順 (新春大会)

- ① スターティンググリッドは抽選で決定します。グリッド表はブリーフィングで配布します。
- ② ピットロードエンドへ整列 (ピットクルーは予めグリッドへ配置、ポールポジションはイン側)
- ③ コースインしグリッドに整列 (グリッド上での写真撮影可)  
コースインできない場合は、ピットスタートとなります。
- ④ 5分前ボード掲示、ピットクルーはグリッドより退去
- ⑤ 3分前ボード掲示、エンジン始動
- ⑥ 1分前ボード掲示
- ⑦ スターティングポディウムよりグリーンフラッグが振られたら、SC(セーフティカー)を先頭に安全な間隔を保ちローリングを開始。ローリング中にタイヤを温める時はスピンの注意ね！スピンしたら隊列の最後尾に配置するか、ピットに戻ってからピットスタートでお願いします。
- ⑧ ダンロップコーナー(T10)に入ったら **2列**に隊列を整えはじめる。
- ⑨ 最終コーナーを立ち上がったら**速やかに隊列を整え、速度を 70~80 キロ**を維持する。**隊列は、はみ出すこと無く限りなく“美しく”**お願いします。**安全でクリーンなレースを遂行するには、先ずは“見た目”も大切です！**
- ⑩ SCが隊列から離脱する。隊列は70~80キロをひたすら維持。
- ⑪ 70~80キロを維持したままスタートブリッジの信号が「**青**」に変わるまで隊列を維持したまま走行。(このとき信号は赤を表示中！)
- ⑫ 信号が「**赤**」から「**青**」に変わったら**一斉にレースがスタートする** (青に変わった瞬間より追い越し可)。但しこの時点で隊列が整っていないか、ローリングの速度が速すぎたりした場合は**信号が「青」を点灯せず**、もう1周のフォーメーションラップ(エクストラフォーメーションラップ)に入り、SC無しで再度同じ手順で進行します。ただし、この1周目より計測(レースがスタート)が開始されます。



## 17) レースの終了、発信機返却

スタートから 4 時間を経過した時点で総合 1 位のチームよりコントロールラインでチェッカーが振られてレースが終了します。チェッカーを受けたらクールダウンしてピットに戻ってください。ピットに戻ったら発信機を返却しトロフィーをお受取りください。

## 18) 表彰式

各クラス 1~3 位のチームはレース終了直後、ブリーフィングルームへお集りください。3 位まで揃ったクラスより表彰式に入りシャンパンシャワーと記念撮影を行います。



## 19) 章典

クラス毎に表彰し、出走した全チームに順位を刻印したトロフィーを贈呈します。途中でリタイアしても順位は確定するためトロフィーをお持ち帰り頂けます。特に副賞はございません。

## 20) 関連情報サイト一覧

- ① ブレーキトラブルに関する注意喚起 <http://japan-racing.jp/moto/PDF/brake.pdf>
- ② 参加誓約書 <http://japan-racing.jp/moto/PDF/fujiform.pdf>
- ③ Fuji-1GP 大会ページ <http://japan-racing.jp/fuji1gp.html>





# 8月13日 富士スピードウェイ走行会 & Fuji-1GP (1/10更新)

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	15:00	17:00
<b>2輪走行会</b>		参加誓約書の提出		フリーフィンゲ									
<b>4輪走行会</b>		参加誓約書の提出		フリーフィンゲ									
<b>Fuji-1GP</b>				車両確認			予選A組	11:15 予選B組					
<b>レンタルカート (おまけ)</b>				参加誓約書の提出									
<b>お知らせ</b>	<p>【ゲートオープン】 6:00予定</p> <p>【公式練習兼予選】 ピットインでの車両交代やドライバー交代は自由(要発信機搭載)。但し各チーム内の同時走行台数は一台となります。</p> <p>【レンタルカート】 Fuji-1GPのオフィシャルプログラムを提示すればレンタルカートが割引料金(1000円)で走行できます。</p> <p>【車両確認】 係員が各ピットに伺い車両を確認します。</p>												

12:35 全車コースイン、グリッドに配置  
12:45 ピットエンド閉鎖

【グリッドウォーク】  
12:30 ピットクルーはグリッドに配置。記念撮影など可  
12:55 スタート5分前 ピットクルーはグリッドより退去

**決勝 4時間耐久**

表彰